



尾張中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT 2017-2018



ロータリー：
変化をもたらす

2017-2018年度国際ロータリーのテーマ

会長：大野東秀
幹事：富田昭夫
会報委員長：熊澤勝則

承認日：1984年1月30日
例会日：毎週水曜日
例会場：名鉄グランドホテル・CBC自動車学校

事務局：〒481-0004 北名古屋市鹿田坂巻5-1
TEL:0568(25)4701 FAX:0568(25)4702
mail: kita2a-owarichuo-rc@rhythm.ocn.ne.jp



あけまして
おめでとう
ごいそようす

新しい年が皆様にとって
素晴らしい一年に
なりますよう
お祈り致します
本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます

平成三十戊戌歳

会長 大野東秀

2017年12月20日 第1610回 例会
名鉄グランドホテル

司 会 会場委員会委員長 松岡幸彦

点 鐘 会長 大野東秀

唱 和 ソングリーダー 住川誠一

我等の生業

会長挨拶 会長 大野東秀



年の瀬のなにかと気忙しい時節柄、平成29年最後の例会を迎えました。ご出席ありがとうございます。

先程、臨時の理事役員会を開催させていただき2018～19鈴木年度の理事役員会の組閣案が提出され承認されました。後ほどの年次総会にて鈴木エレクトから発表して頂きます。

除夜の鐘はなぜ百八つのか？

大晦日の夜を年越しとも除夜とも言いますが、大掃除でさっぱりしたところで年越しそばを頂き、しばらくするとどこからともなく除夜の鐘が響いてくる。一昔前の情景ですかね…。

百八つのは、我々の煩惱が百八あり、それを一つ一つ打ち消して新しい年を迎えるとされています。この風習はインドには無く、中国では鐘をたたき爆竹を鳴らして厄を払い、三跪九叩の礼をして新年を迎えるところから始まったと思われます。

釈迦はこの煩惱の全てに打ち勝ち悟りを開いたと言いますが、中国の傳大士は生前に習ったお経をあの世で忘れ、閻魔様の裁きによって正に地獄に落ちようとした時、静かに響く鐘の音を聞いたたちまち記憶がよみがえり許されたという話があります。除夜の鐘の音は我々に過ぎ去った一年の行いを反省させ来る年の希望を新たにさせる警鐘とも言えると思います。

私の寺でも毎年深夜11時45分から除夜の鐘をつき始め、ぜんざいのおもてなしをしています。

幹事報告 幹事 富田昭夫

〈臨時理事会の件〉

- 2018-19年度理事役員会の提案があり承認いただきました。
- 次年度地区委員に対し地区より熊澤君、堀尾君に要請がありました。ご本人様に確認をとり理事会において承認いただきました。
- 北名古屋市青年会議所賀詞交歓会の件
1月11日(木)19:00～ Kawabun Nagoya
出席予定者：大野会長、魚住副会長、富田幹事
※承認
- 国際協力プロジェクト参加助成の件
12月7日～10日 ラオス ビエンチャン県地区事業として奉仕活動があり当クラブより熊澤社会奉仕地区委員と堀尾分区幹事の2名が参加されました。参加にあたりクラブより助成の提案があり承認頂きました。

出席報告 委員長 太田利和

第1609回
会員数:31名 出席数:18名 出席率:75%
前々回第1607回 修正出席率:91%
第1610回
会員数:31名 出席数:24名 出席率:88%
前々回第1608回 修正出席率:92%

ニコボックス 委員長 今村康宏

太田(利)君 クリスマス会欠席すみません。皆様一年どうもありがとうございました。
松岡君 母の葬儀では皆様に色々お世話になりました。ありがとうございました。
魚住君 クリスマス例会ありがとうございました。楽しい時間を過ごす事ができました。
熊澤君 無事ラオスから帰りました。今年も無事終わりでございます。ありがとうございました。本年もよろしくです。
富田君 今年1年大変お世話になりました。来る年が皆様にとって幸多い年になりますよう御祈念申し上げます。
宇田君 本日結婚記念日です。結婚祝いのお礼です。
堀尾君 分区の植樹事業でラオスに行ってきました。大変感動的な経験をしてまいりました。家族会欠席のお詫び。
檜吉君 一年間ありがとうございました。
平野君 年末家族会で大変お世話になりました。今年一年間、ありがとうございました。

《第1610回例会 ニコボックス》

寄付会員数	9名
本日の合計額	51,000円
本日までの累計額	779,000円

○年次総会

- ①2018-19年度役員・理事構成発表 鈴木エレクト
- ②前年度会計報告 会計担当太田 代理赤堀

○卓話 瀧本職業奉仕委員長より

※内容はHPにてご覧いただけます

本日のお知らせ (1月10日)

第7回定例理事会

今月のお祝い

クラブアッセンブリー

会場/名鉄グランドホテル

担当/会長・幹事、会場委員会

(1611回)

次回のお知らせ (1月17日)

卓話

会場/名鉄グランドホテル

担当/職業奉仕委員会

(1612回)



職業奉仕委員会報告

職業奉仕委員長
瀧本 守

11月30日地区職業奉仕委員会に出席してまいりました。

先ず、神野ガバナーの挨拶から今年度地区方針の「今からロータリーを楽しもう」それには「奉仕を通じてロータリー活動に楽しみを見出す努力が必要、その上で“より高いロータリー・ブランドの追求”を目指していきたい。

そうでなければ持続、継続はできないだろう、と言われました。そして「ロータリーを楽しむための実践項目」としていろいろ仰った中で、今や世界200ヶ国、122万人の力で、世界の中にいいことをし続ける団体として知られるようになったが、まだ認知度は高いとは言えない、もっとロータリーへの理解度と「公共イメージ向上を図ろう。と言うお話でした。

私はお話の中で2つほど気になる事がありました、その1つ「ロータリーがブランド」としているのは何か又、「世の中に良いことをし続ける団体」と自負するものと言えばポリオプラスプロジェクトであり、RCC地域社会共同体であり、WFFのようなイベントであるわけですが、此れすべて目に見える奉仕活動で、ロータリーが美徳としていたいわゆる陰徳、それは人知れず奉仕することに価値があるとした考え方。あれは何処へ行ってしまったのかと、ふと気になりました。

この後「職業奉仕のとらえ方」①としてガバナーエレクトの村井総一郎君続いて②地区研修実行委員長の早川和男君の卓話がありました。

先ず、捉え方の①村井ガバナーエレクトは、職業奉仕はロータリーの根幹か？のお話の中で、伝統的な職業奉仕とは倫理運動ではなかったか、職業人としてより高い倫理の向上を目指し、世の中の規範としてあるべき考え方や行動こそロータリーのブランドでありステータスではなかったか。このお話は大いに共感致しました。

ただ現在職業奉仕のとらえかたが二分している問題点を整理すると
(攘夷鎖国派)

- ・今まで道り、職業奉仕がロータリーの根幹・看板で、職業奉仕中心として、そこから他の奉仕活動の輪がひろがる。
- ・職業奉仕こそがロータリーの特徴である。

(開国・国際派)

- ・職業奉仕という言葉を使うのは、五大奉仕の第二部門の活動にのみ、職業奉仕奉仕という言葉を使うこと。
- ・ロータリーの根幹は奉仕の理念で語るべき。

◎これあなたはどう考えますか。と質問を投げかけられました。

その後、早川地区研修実行委員長のとらえ方②では、職業奉仕と倫理というお話の中で「ロータリーの倫理とは法令順守だけではない。もっと高度なもの。そしてロータリー活動の目的は、自らの職業を通じての倫理運動なのだ。というものでした。

休憩を挟んでグループディスカッションが行われた。私たちは西尾張分区のグループで、グループリーダーは名古屋清州クラブの和田典之君。

内容については1月17日の卓話でお話頂くとします。